

自立・社会参加に向けた進路選択

★自立とは、頼れる人や場所、手段を複数見つけること。(依存先)

小1では中学校卒業後の姿を、中1では18歳以降の姿をイメージして

- ★職業(経済面)の自立
- ★社会的自立(ルール・命を守る)
- ★親死後の生活(住居・金銭・人材サポート)

本人と仕事のマッチングが大事!

- ☺ 子どもに向いている仕事
 - ☺ 子どもが好きな仕事
- (ホワイトカラーにこだわらない!)

☹️ 無断欠勤・遅刻・引きこもり・ニート・親への依存(金銭)

・就労移行支援
・就労選択支援
・就労継続支援A
・就労継続支援B
(最低賃金○)
(工賃が支給)
・生活介護(通所)
・在宅療養(自宅)

★家族以外のサポートが必要な時

支援学校は高卒認定ではないため、大学への進学はできない。

★障がい者雇用枠は手帳が必要。
★2018法定雇用率 2.7%

就職

～就労移行支援～
★療育手帳がなくても受けられる所も!(基本的に無料)
→ チャレンジドジャパン・デイキャリアオフィス等

・一般企業
・一般就労

障がいをオープンにして働くか、クローズにするか...

進学
・大学
・専門学校

★診断名は合否に影響なし

県立特別支援学校 高等部(知的)

- ★職業現場実習(複数の企業で働いて、お試し)
 - ★就職時、療育手帳 必須
- ※知的障がいがある方が、申請するもの。福祉サービスや控除、就学支援が受けられる。

※入学条件 知的障がいであること

町の健康福祉課に相談 → 児童相談所で判定

私立高校 (通級なし)

公立高校 (一部、通級あり)

- ★特別支援学級なし → 集団生活が基本
- ★合理的配慮・支援 → 学校で差がある
- ★部活あり
- ★卒業後、就職を希望の場合 → 基本、就労体験はなし

配慮を申し出ることができる。

★高校を中退した時のことも考えておく。

中1、2年で学校見学

中3の夏に入学説明会(教育相談) 必須

オープンスクール → 若者サポートステーション・発達障がい者支援センター・他行の情報(通級・定時制)等

入試(一般・自己推薦・スポーツ推薦)

特別支援学校 中等部(知的)



〇〇市(町・村)立 □□中学校

特別支援学級

知的障がい
自閉・情緒
肢体不自由
病弱・弱視・難聴

通常学級

通級
・LD
・ことば等

就職への 第一歩

5S



挨拶も大事!

清潔・整理・整頓・清掃・集団行動



私の癖って〇〇だから、カバーするには~しよう。

いずれは

自己理解 → 自己開示

自分説明書
★支援例

過去より今、
今より未来!
かっよくなる(*^-^*)

★メンターとなる大人との関係



自己肯定感

土台は...



の エネルギー

~ 集団への貢献 ~



自己有用感

♥ 居心地のよい集団

「ありがとう」
「助かるよ」
「頼りにしてるよ」